

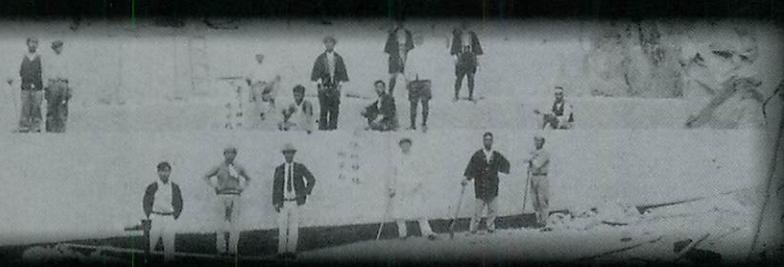
北木石

国
産
銘
石

KITAGI.
granite

岡山県笠岡市
北木島・石の
歴史を訪ねて

石

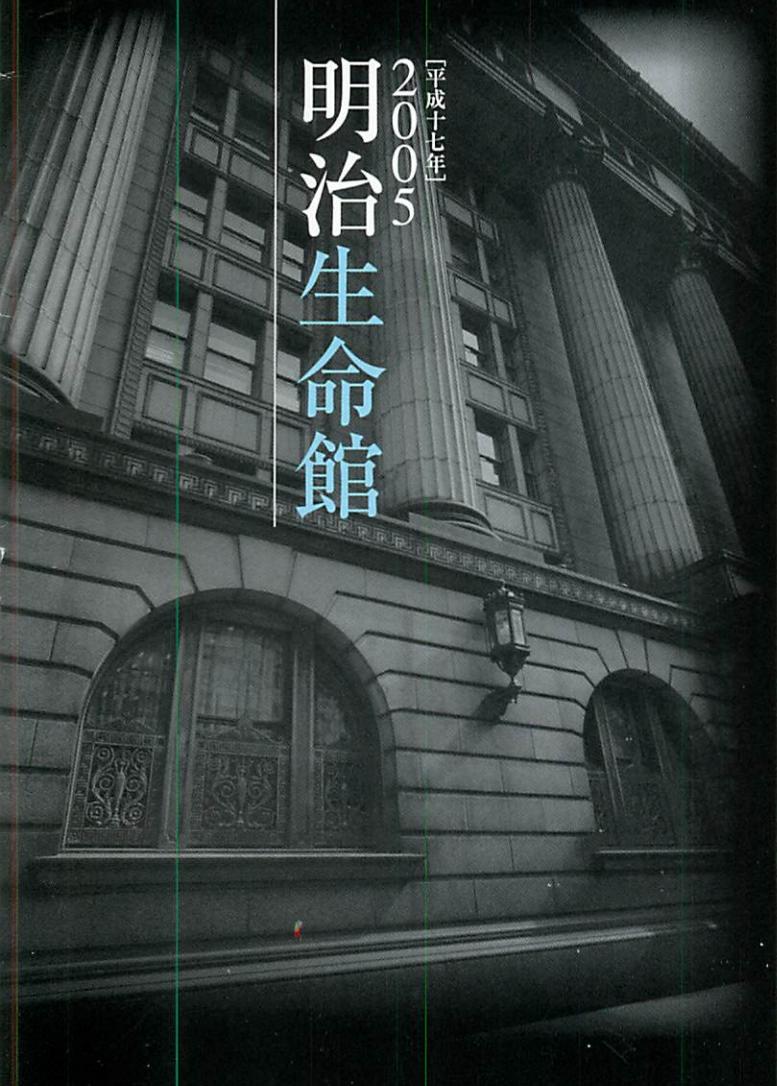


明治神宮
〔天正九年〕
1920

日本の歴史と

伝統の銘石・北木石。
共に歩んできた、

明治生命館
〔平成十七年〕
2005



北木石 銘石図鑑

過去から現在へ「北木石」の発展を見る

瀬戸内の銘石の四大産地、それは「庵治」「大島」「青木」「北木」。中でも北木は徳川幕府が再築した大阪城の石垣にまでさかのほる歴史ある銘石です。その北木石は数多くの日本の建造物や墓石などを支え今もなお一大産地として全国にその名をはせています。「北木石銘石図鑑」過去から現在に至るまで歴史の中で輝く北木石の功績を垣間見る事ができるでしょう。

1933 [昭和8年]
靖国神社
花崗岩大鳥居

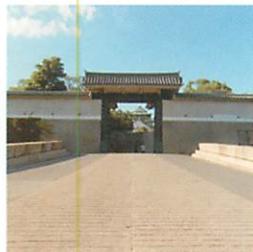
東京都千代田区九段北

日本の歴史と
共に歩んできた
伝統の銘石・北木石

KITAGI granite

graniteとは御影石の意味です。

瀬戸内の銘石の四大産地は屋島に近い香川北部の庵治地方の「庵治」、愛媛・今治市の「大島」、香川・塩飽諸島の中でも一番大きな広島の「青木」、そして笠岡の南16キロに位置する北木島の「北木」です。どの産地も歴史は古く、現在もなお採石は継続産地の風格をかもしだしています。



1629 [寛永6年]
大阪城
桜門

大阪市中央区
[重要文化財]



1904 [明治29年]
日本銀行
本店本館

東京都中央区日本橋本石町
[重要文化財]



1910 [明治43年]
伊勢神宮
参拝道の石灯籠

三重県伊勢市・御幸道路



1914 [大正3年]
三越本店

東京都中央区日本橋



1920 [大正9年]
明治神宮
神宮橋

東京都渋谷区代々木



1934 [昭和9年]
東郷平八郎
墓石

東京都府中市・多磨霊園



1959 [昭和34年]
五条大橋

京都府京都市東山区



1965 [昭和40年]
江戸川乱歩
墓石

東京都府中市・多磨霊園



1981 [昭和56年]
薬師寺
西塔

奈良市西ノ京町



1981 [昭和56年]
花園東陵
鳥居

京都府京都市右京区

江戸時代から明治・大正・昭和さらに現代に至るまで
北木石は日本の歴史的建築・建造物・墓石に
多くの功績を残しています。



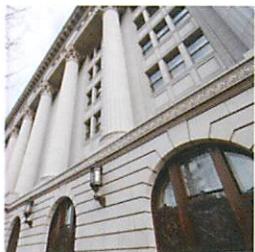
1991 [平成3年]
中国銀行
本店

岡山県岡山市丸の内



1997 [平成9年]
七福神と
宝船

岡山県笠岡市十番町



2005 [平成17年]
明治
生命館

東京都千代田区丸の内
[重要文化財]



2005 [平成17年]
格式ある著名寺院
歴代館長の墓

京都府京都市右京区



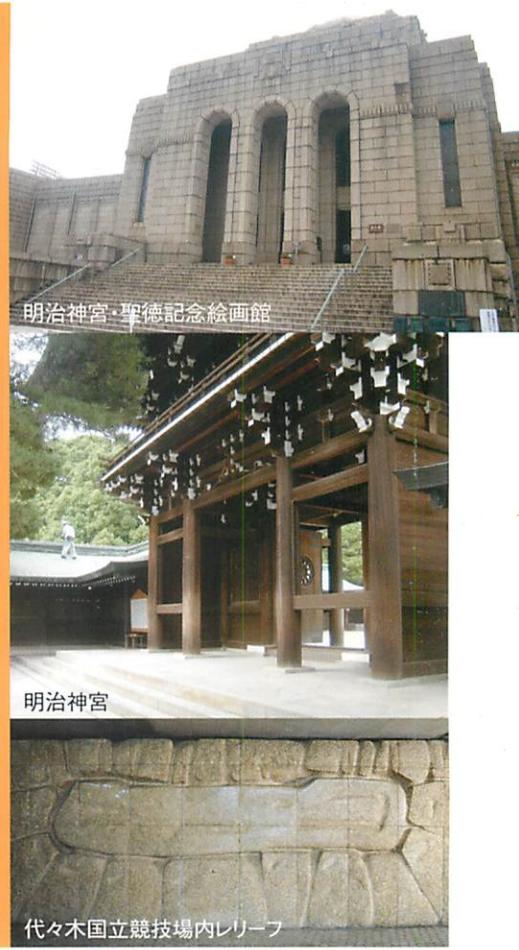
2007 [平成19年]
関西圏
大規模霊園

兵庫県



北木石を探して歩く
小旅行。

ぶらり 街歩き



明治神宮・聖徳記念絵画館

明治神宮

代々木国立競技場内レリーフ

◎北木石を探して…。

東京散策

島の石に魅了された一人の明治男・畠中平之助の功績により膨大な量の「北木石」が日本全国に放たれることになったが、東京都内に石材建築として活用されていることはあまり知られていない。そこで北木石を探して現在の東京を散策してみよう。オフィス街・丸の内を歩くとひときわ重厚でモダンな建物が現れる。昭和9年3月施工された「明治生命本社ビル」は平成9年に重要建築物に指定されている。少し歩くと日本橋本石町の「日本銀行本店」が見える。当時の流行だったバロック様式の石柱細工は時代を超えた風貌が漂っている。旧三井本館が関東大震災で被災したた

め昭和4年に建替えられた中央区日本橋にある三井本館(三井信託銀行)。地上7階地下2階建ての新古典主義様式の堂々たる外観を持つ建物で平成10年に国の重要文化財に指定されている。ブロンズのライオンがお迎えしてくれる老舗百貨店の「日本橋・三越本店」のエントランス。施工は大正3年、その洒落た空間はフランスの宮殿を参考にしたという。日本人の美意識と西洋のロマニズムの融合で独特な建築物が数多く開花した時代でもある。いずれも戦火から奇跡的に残った建物ばかりである。明治神宮外苑の「神宮橋」やその一角にある神宮外苑の中心的な建物の美術館「聖徳記念絵画館」にも北木石が使用されている、大正15年の建物。また北木石は代々木国立競技場内にあ

る公共彫刻に使用され昭和35年からその魅力を發揮している。

九段下に場所を変えよう。日本一の大鳥居のある靖国神社。大鳥居をはじめ、大燈籠、大村益次郎銅像など明治から昭和にかけて建立された近代遺産が現在も昔を偲ばせる。大鳥居の偉大さはもちろんのことだが、なかでも明治26年建立の大村益次郎銅像は日本古来の西洋式銅像として有名である。北木石はその台座に使用されている。当時は神社の鳥居には杉の木などが使われていたが「永久不変」の価値観により、素材としての石に脚光が浴びるようになったといわれる。島の男たちが国家的大事業を残してきた痕跡が東京に現在も存在している。

日本銀行本館



三井本館(三井信託銀行)





大村益次郎像(靖国神社)



花崗岩大鳥居(靖国神社)



大燈籠(靖国神社)



明治神宮・神宮橋



三越本館入口

●北木石を使用した主な建築物

東京不動銀行本店(旧館)、第一銀行本店(旧館)、日本銀行本店(本館)、明治生命本店、靖国神社花崗岩大鳥居、神奈川県立博物館、日本銀行大阪支店、三井銀行船場支店、大阪証券取引所、三井銀行大阪支店、三菱銀行南支店、日本生命本社、三和銀行京都支店、京都五条大橋、薬師寺金堂、薬師寺西ノ塔、南海難波駅コンコース、阪急梅田駅コンコース、帝産中ノ島ビル、金光教本部、大和銀行本店(旧館)、中ノ島公会堂、同志社大学、岡山県立美術館など

(順不同)



大阪・大阪城石垣



大阪・大阪城石垣



京都・五条大橋の牛若丸と弁慶像



京都・大本山天龍寺三秀院十三重塔



奈良・薬師寺西塔

◎北木石を探して…。

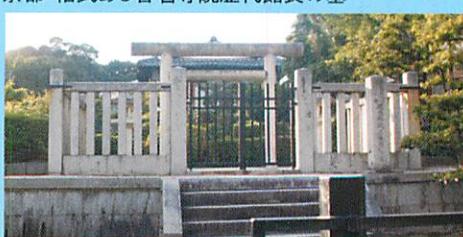
関西散策

関西に北木石を探してみよう。現在、国の重要文化財に指定されている大阪城。城内には、大手門、焔硝蔵、多聞櫓などの遺構が残っている。石垣には瀬戸内海の島々などから採石された巨石が用いられ、桜門の石垣に北木石の遺構を見ることができる。巨石に近づくと、その石を寄進した大名を示す刻印が目を引く。落雷、明治維新、第二次世界大戦で幾度となく大阪城は炎に包まれたが石垣だけは当時の姿を留めている。京都市を流れる鴨川に掛かる五条大橋は弁慶と牛若丸の伝説で有名であり、橋の西側には、その

状景を模した牛若丸と弁慶像の2体の石像を見ることができる。京都市右京区化野、十三重塔を中心に祖先を祀る墓石が並んでいる、静かな佇まいの大本山天龍寺三秀院。平安時代末期、法然上人の常念仏道場となる浄土宗の寺である。京都市右京区嵯峨野の、ある寺院には歴代館長の墓が静かに佇む。この寺院は水戸黄門の撮影場所としても有名である。奈良県奈良市西ノ京町に所在する薬師寺は、興福寺とともに法相宗の大本山である。南都七大寺のひとつに数えられ1998年に古都奈良の文化財の一部として、ユネスコより世界遺産に登録された。1976年に金堂が再建された際、北木石が用いられた。北木石と数多く出会えた関西散策であった。



京都・格式ある著名寺院歴代館長の墓



京都・花園東稜鳥居



奈良・薬師寺金堂

大正八年十二月 一通の依頼書が届く



昭和10年新京神社大鳥居建造風景（旧満州）

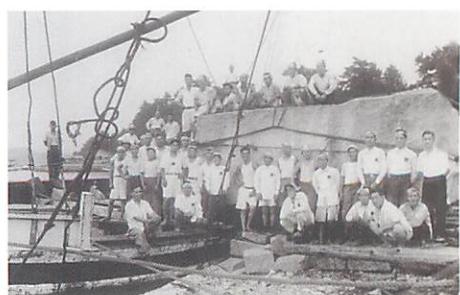
明治神宮からの 書状

明治神宮造営局



110トン大石荷役風景

大正八年十二月の小雪が舞う冬、島の男に一通の依頼書が届いた。明治神宮の造営にあたり鶴田築輔に北木石を使用する旨を伝える書状であった。鶴田は急いで島の優秀な石工職人たちを集めた。そして翌大正九年、明治神宮依頼の神宮橋の仕事を見事に完了した。その後も次々と明治神宮依頼の石材工事を受注していくことは時の記録に記されている。日本の歴史が近代化に舵をきったその時、島の歴史が大きく動き出した瞬間でもあった。大正の終わりから昭和初期には丁場の数は大小150箇所にも膨らみ「石の島」は全盛期を迎えていった。



京都泉涌寺の宝塔用材前で撮影

このような「北木石」がかかわる国家的大事業に一人の明治の男の姿が存在する。男の名は畠中平之煦。島肌に露出した北木石の素材のよさをいち早く見抜いた男だった。畠中は自前の紺の羽織袴を身に着け日本全国を飛び回り島の石の魅力を広めて回った。その甲斐あって明治二十三年、日本銀行本店の大掛かりな国家的大事業を手がけることとなる。これを契機に大正、昭和と次々に北木島の石は日本に名を残す歴史的建築物や墓石に使われ

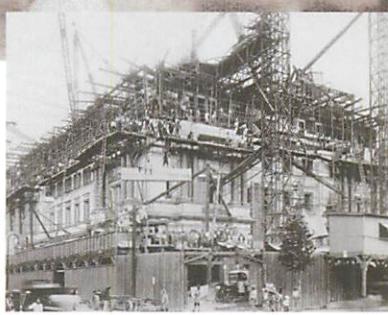
るようになったのである。島の石に魅了された一人の明治男、畠中平之煦の輝かしい功績により、のちの時代に至るまで膨大な量の「北木石」が日本全国に放たれることになったのである。

島の 男たちが進めた国家的大事業。

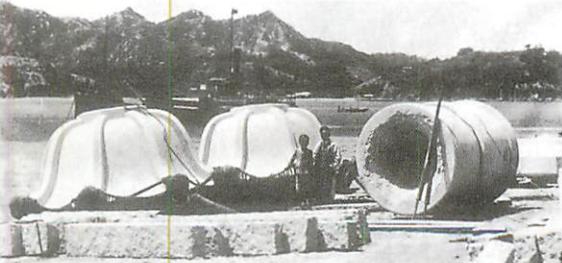


日本一の大鳥居 靖国神社花崗岩大鳥居

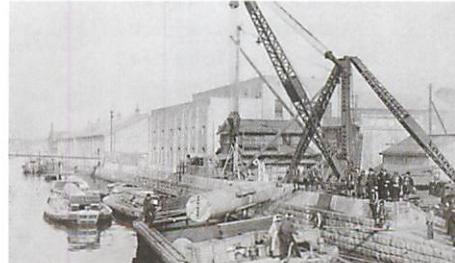
昭和八年に奉納された靖国神社花崗岩大鳥居は北木石を使った日本一の大鳥居である。直径1.2メートル、長さ12メートル、重量50トン。瀬戸内海を渡り神戸から東京芝浦まで陸送、九段下の靖国神社に無事建立されるまでかなりの苦労があったと当時の記事に掲載されている。



昭和6年日本銀行本館増築石材工事風景



靖国神社大灯籠搬入風景



昭和8年船より月島陸揚げ



船より月島陸揚げ

石の島



笠岡諸島 白島

その島はまるで石の島

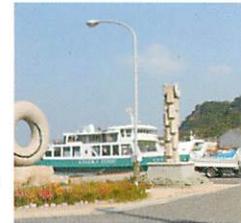
北木島

北木島の 「猫岩伝説」

北木島に近づくにつれ島のあちこちに変わった石が見える。島全体が石で成り立っていることを実感させられる。島の南側に猫の顔になんとなく似ている通称「猫岩」と呼ばれている岩がある。島の古い言い伝えによれば、中世は源平の水島合戦の折、瀬戸内海に没した平家の武将とともに三毛猫が島に辿り着き石と化したという。



笠岡港からフェリーで約50分、
白御影石で知られる北木島に着く。
瀬戸内のほぼ中央に浮かぶ
穏やかな気候の島は漁業も盛んだ。
島の周囲は16キロ、砂浜、奇石にあふれる
この島はまさに「石の島」である。



北木 品質



石材加工工場が棟を並べる北木島は活気にあふれています。丁場と石材作業所・加工場が混在し墓石などの細やかな加工の技術を要する腕のいい技術者が多くいます。北木石材商工業組合の各社が石材産業をしっかりと担っています。産地北木島は「北木品質」の発祥の地ともいえます。

北木石の産地だから
生産から製造加工まで
一貫した体制で応える。



[北木石]

島の丁場に近づくと削岩機の連打音がうなる、
石が目を醒ました瞬間だ。
大きな穴のはるか下、海面下70メートル、
ビルにして17階建てほどだろうか、
その場所で男たちが黙々と手際よく作業をしている。
掘り出した石をチェーンで繋いでゆっくりと
地上に引き上げ作業が終わり男たちは手を休めた。
厳しい作業からつかの間、
そこには石と戦う男たちの
笑顔があった。



中目

瀬戸白

瀬戸赤

サビ石

北木石が 目を醒ます。

北木石 特徴・比較

■石材物性データ表

※建立実績確認／石質試験数値だけでは予測出来ない
石材の経年変化、建立後の追跡確認により石材の色
調変化・傷・ムラの状況確認。
※加工時確認／石材は原石の視的確認だけでは良しあ
しの判断はできません。最終的には研磨加工をしていく
段階においても傷・含有鉱物の状況を確認しながら行
なわれ原石に問題がある場合は処理されます。

●岩石名

	●見掛け比重 (g/cm³)	●吸水率 (%)	●圧縮強度 (N/cm²)
北木石 <i>KITAGI</i>	2.63	0.17	158.73
庵治石 <i>AJI</i>	2.65	0.15	155.00
大島石 <i>OhSHIMA</i>	2.649	0.111	117.99

経年変化



長い間、雨風にさらさ
れる墓石は風化がつ
きものです。しかし北
木石のように石質が
硬く吸水率が低い材
質は「経年変化」も気
になりません。特に圧
縮強度は耐久性にお
いて吸水率をも補う数
値です。



北木
石

[墓石]

その墓石の気品と
美しさは「北木品質」と
呼ぶにふさわしい。

KITAGI
granite

北木石は岡山県笠岡市

北木島で採石される御影石のこと。

白色を主とし、中目と瀬戸白、瀬戸赤、サビ石の4種類があります。

石材としての特徴は極めて「光沢」があり、しかも

「ねばり」があるので加工も容易で墓石の素材として適しています。

製造加工においても多くの熟練した技術者を抱え

「北木品質」を届ける産地力を担っています。

気品と美しさを産地北木からお届けします。



「北木石・墓石デザイン」
現代にマッチした墓石の
デザインを追及しています。



いま、お墓の形も少しづつシンプルに変わっています。シャープなラインの中に少し優しいディテールを取り入れながら、風化しにくい強度も考えバランスを整えた墓石デザインをしています。是非、一度実物の墓石をお確かめください。





陰と陽のお話し

墓相の基本は易学で言われる陰と陽。陰は土、陽は光と言われています。陰とは、冷たい暗い、柔らかいなど。対する陽とは、熱い、明るい、硬いなどの性質です。この二つの性質が存在し全てのものに役割がある、それが東洋の考え方です。明るく白い墓石が選ばれる言われば祖先を尊ぶ気持ちからくる「陽」の性質を想うからではないでしょうか。

白さ

まず墓石を建てるとき、色や形また産地について考えなくてはなりません。墓石の色は白の御影石がよく、その家族に不幸や災厄が起これりにくいと言われています。

出来れば清楚な「白い」国産の墓石をおすすめします。
お墓参りにも白い菊の華を供えてあげるとよいでしょう。

尊ぶ

お墓は先祖の住まいです。全体的にバランスが整ったお墓が望ましいでしょう。お墓を販売している石材店の方に詳しく聞くのもよいでしょう。数年で欠けたり色が変わるように石は墓石としてふさわしくありません。先祖を守ってくれる雨風にも強いお墓を選び、故人のみなならず先祖を尊ぶ気持ちが大切です。



Q & A

初めての お墓づくり



Q [お客様] 大阪・吹田
墓石選びのアドバイスを…。

昨年父を亡くしこの度、墓地を取得し墓石を立てたいと思い近くの墓石店に伺いました。沢山の墓石が展示してあり、どれがよいか迷ってしまいました。墓石の石材はどれも同じ様に見え、色が違うぐらいにしか見えませんでした。墓石には違いが有ると思われるのですが少しアドバイスをいただけませんか。

A [販売員] 墓石店・A店
実績ある石材加工産地を選び、品質が良く耐久性に富む墓石を。

お尋ねの件ですが、墓石に使われる石は様々です。国内産ばかりではなく中国産など輸入の石材もあります。石は地層の中で形成される過程で成り立ちが違い、その産地によって石の特徴ができます。吸水率や硬度、比重などの違いによって風化の原因や時が経つに



つれ色の変化ができます。まずは品質が良く、耐久性に富む墓石選びがポイントです。そして石の色目ですが石の形成上、国内で採石される石の多くは白や灰色の御影石です。このようなことから、故人の住むお墓は清潔感があり、なおかつ雨風にも強い国内の白い御

影石をお勧めします。「ご縁があつての墓石」…墓石も出会いです。墓石店では実績ある石材加工産地の石を選ぶことをお勧めいたします。



中目



瀬戸赤



瀬戸白



サビ石

KITAGI
granite

